

学級活動 学習指導案

尾道市立原田中学校
指導者 豊田 香織

1 期 間 平成19年12月12日(水)～12月13日(木)

2 学年・組 第3学年1組(15名)

3 題材名 「将来の生き方を考える上で必要なことは？」
[A(3) 学業生活の充実, 将来の生き方と進路の適切な選択に関すること]

4 題材設定の理由

○ 題材観

本題材は、中学校学習指導要領特別活動編の内容A(3)「学業生活の充実, 将来の生き方と進路の適切な選択に関すること。」に関する活動内容「進路適性の吟味と進路情報の活用, 望ましい職業観・勤労観の形成, 主体的な進路の選択と将来設計」について取り扱ったものである。文部科学省(平成16年)の『キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書』では、主体的な進路選択力や将来設計能力を育成するには、「社会の仕組みや経済社会の構造とその働きについての基本的理解」が必要であり、それらを促すために、労働者としての権利や義務, 相談機関等に関する情報等キャリアの積み上げに必要な最低限の知識を習得させなければならないと示されている。

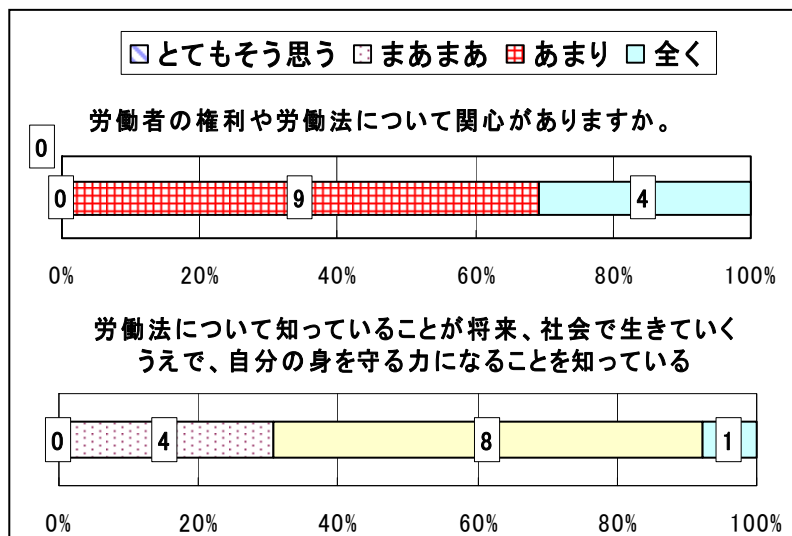
経済構造の変化や雇用形態の多様化等を背景に、非正規雇用の増大等若者の進学・就職を巡る環境が大きく変化する一方、社会的な自立を果たしていくことが困難な状況にある若者の問題がクローズアップされている。生徒が将来、社会の様々な変化に柔軟に対応し、自分の意志と責任で主体的に生きていくためには、自己の個性や適性を自覚し、自分たちを取り巻く環境や社会の現実に関する的確な情報理解が必要となる。本題材では、自らの立場を労働者の立場に置いて考えさせながら、労働者にとって必要な勤労の権利と義務及び労働者の権利を守る労働法や相談機関等について理解を深める学習を展開する。本題材での学習は、将来、生徒が職業生活において不利益な扱いや不当な差別を受けないようにするための必要不可欠な学習内容であるとともに、困難な状況から立ち直るための知識の習得を図る上で、意義のあるものとする。

○ 生徒観

所属校においては、勤労観・職業観をはぐくむ学習プログラムに基づいて学校の教育活動全体を通じてキャリア教育を推進している。総合的な学習の時間において展開している地域の特性を生かしたアントレプレナーシップ教育では、職業の三要素について、体験を通して学んでいる。本学級の生徒は、生徒会役員をはじめ、アントレプレナーシップ教育での会社役員など全員が役割を持って活動している。

活動においては、個人が自己の果たすべき役割と意義を自覚し、責任を持って行動する中で勤労の意義について考えるとともに、活動の成果については、地域に発信している。

社会科公民的分野において、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善等についての学習が取り扱われているが、本学級の生徒は、既に社会権の節で、勤労の権利や労働基本権について学習している。しかし、単なる知識の習得にとどまっており、勤労の権利



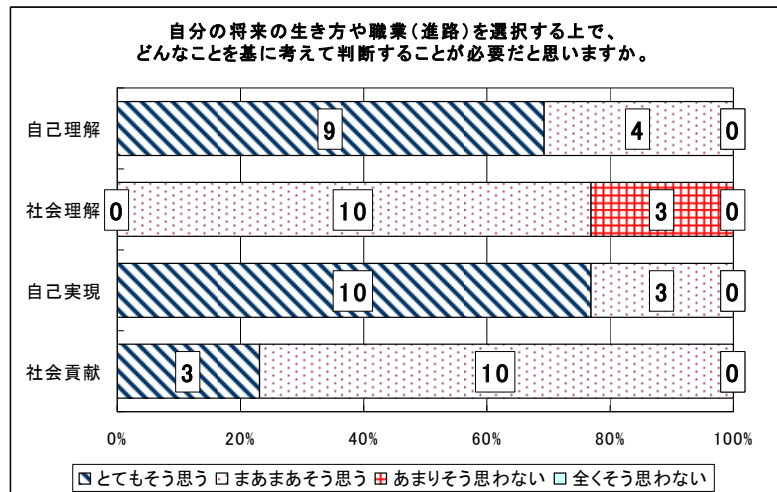
や労働法に関する知識が、自分たちの将来の生活を保障してくれる知識であるという認識はできておらず、将来のキャリア形成と関連付けて捉えるまでには至っていない。

また、進路指導においても、急速に変化する社会の現実を踏まえながら将来の生き方について考えさせる取組みは不十分であったため、アンケート結果に見られるように、将来設計を行う際に、社会や経済の動向についての情報理解が重要であるという意識は低い。

○ 指導観

指導にあたっては、社会科公民的分野で習得した知識を基に、現実の具体的な事例に即して自己の生き方を考えさせることにより、将来設計を行う際に社会や経済の動向についての情報理解が必要であることを理解させたい。具体的には、新聞記事で取り上げられたタイムリーな労働に関する記事や総合労働相談コーナー等での相談内容を参考に作成した事例を通して考えさせる中で、労働基準法、最低賃金法、男女雇用機会均等法等の労働法に関する基礎的な知識が、将来の職業生活において、自らを守る最低限の知識であることを理解させたい。労働問題は、健康被害や人権侵害に及ぶため、深刻なテーマであるが、その状況についてはあまり深入りせず、将来自分たちが不利な状況に陥った際の相談機関に関する知識の習得に焦点を当てたい。その際、生徒が興味を持って学習に取り組めるよう、クイズを取り入れたり、グラフなどを提示して分かりやすい授業展開を工夫する。また、個人で様々な事例について考えさせた後で、グループやクラスで意見交流を行い、多様な考えに触れさせることにより、思考を深化させたい。

自己の生き方を考えさせる資料については、大学や高等学校、職業安定行政等で実施されている就職ガイダンス等の取組み例を参考に中学生の発達段階に応じた内容に組み替えて用いることとする。また、失業や転職などのキャリア転機を中学生にとって身近な問題として捉えさせ、労働者の立場で自己の生き方を考えさせるために、まず、15年後の自分の理想の生活について考え発表することにより、働く自分の姿をイメージさせたい。



4 題材の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	表現・技能	知識・理解
自分を取り巻く社会の変化に関心を持つとともに、自己と社会との関連の中で自分の将来の生き方について考えようとしている。	自分の将来に希望を持ち、その実現に向けて将来設計を立てる中で、自己の生き方について考えている。	様々な事例に関して、自分たちはどう対処すべきなのか考え、建設的な意見を出すことができる。	社会変化に伴う雇用情勢の変化やキャリアの積み上げに必要な最低限の知識について理解している。

5 題材のねらい

- 自分の将来設計や進路選択を行う上で、社会や経済の動向についての的確な情報理解が必要であることを理解する。

6 指導と評価の計画

学習内容	評価					
	関	考	表	知	評価規準	評価方法
第1時 社会や経済の動向について知る	◎			○	自分を取り巻く社会の変化に関心を持つとともに、自己と社会との関連の中で自分の将来の生き方について考えようとしている。 社会変化に伴う雇用情勢の変化やキャリアの積み上げに必要な最低限の知識について理解している。	振り返りシート 観察法
第2時 労働者の権利や義務、相談機関等について理解する			◎	○	様々な事例に関して、自分たちはどう対処すべきなのか考え、建設的な意見を出すことができる。 社会変化に伴う雇用情勢の変化やキャリアの積み上げに必要な最低限の知識について理解している。	振り返りシート 観察法
第3時 将来の職業生活において、予期せぬ出来事が起こった場合、自分ならどうするか考える。		◎		○	自分の将来に希望を持ち、その実現に向けて将来設計を立てる中で、自己の生き方について考えている。 様々な事例に関して、自分たちはどう対処すべきなのか考え、建設的な意見を出すことができる。	ワークシート 振り返りシート 観察法

7 学習過程

(1) 第1時

① 本時のねらい

自分の将来の生き方や進路を選択する上で、何が必要なのか考えることを通して、社会や経済の動向等への関心を高める。

② 本時の評価規準

◎ 自分を取り巻く社会の変化に関心を持つとともに、自己と社会との関連の中で自分の将来の生き方について考えようとしている。

○ 社会変化に伴う雇用情勢の変化やキャリアの積み上げに必要な最低限の知識について理解している。

③ 準備物

パワーポイント、キーワードカード、振り返りシート

④ 学習過程

	学習活動	指導上の留意点と支援	評価規準と評価方法
導 入	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「15年後の私」をイメージする。 ○ イメージした自分像をペアで交流し合う。 ○ 生き方について考えることの大切さを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の将来をイメージさせることで、目標とする生き方を再確認させる。 ○ 進路を考えることは不安なことではあるが、自分の夢を実現するための一歩となることを伝える。 	
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分たちが社会人となっている15年後の社会は、どんな社会か考える。 ○ クイズに答えながら、社会や経済の動向や雇用情勢について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 21世紀の社会を表すキーワードをもとに考えさせる。 ○ フリーターと正社員を比較しながら、非正規雇用者の置かれている厳しい現状に気付かせる。 ○ 若年者の早期離職などのミスマッチは、仕事理解が不十分なことが主な原因であることを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会変化に伴う雇用情勢の変化やキャリアの積み上げに必要な最低限の知識について理解している。【知識・理解】(振り返りシート)

まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の将来の生き方を考える上で何が必要か考える。 ○ 記入したことを発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 進学においても、不十分な情報に基づく進路選択は、中途退学などのミスマッチを引き起こす原因になることに気付かせる。 ○ 職業選択は生き方の選択である。変化の激しい社会において、自分の生き方を選択する際には、社会や経済の動向に目を向け、的確な情報理解が必要であることを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分を取り巻く社会の変化に関心を持つとともに、自己と社会との関連の中で自分の将来の生き方について考えようとしている。 【関心・意欲・態度】 (観察法、振り返りシート)
-----	---	---	---

(2) 第2時

① 本時のねらい

労働法に関する知識が、将来の職業生活において自分の身を守るための知識であることを理解する。

② 本時の評価規準

- ◎ 様々な事例に関して、自分たちはどう対処すべきなのか考え、建設的な意見を出すことができる。
- 社会変化に伴う雇用情勢の変化やキャリアの積み上げに必要な最低限の知識について理解している。

③ 準備物

パワーポイント、ワークシート、労働法に関する資料、振り返りシート

④ 学習過程

	学習活動	指導上の留意点と支援	評価規準と評価方法
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○ 変化の激しい社会の中でどう生きていけばよいか考える。 		
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○ クイズに答えながら労働者の権利について学ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 広告にある違反は何？ ・ 18才未満の労働について ・ アルバイトでも年休が取れる？ ・ アルバイト先で、物を壊したら弁償しなければいけないか？ ・ 残業手当はいくら？ ・ 明日から来なくていいと言われたら？ ○ 本時で学習したことを、将来の職業生活にどう生かしていきたいか考える。 ○ 記入したことを発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ グループで話し合った後で、発表させる。 ○ 労働基準法、最低賃金法、男女雇用機会均等法等について資料をもとに説明する。 ○ 労働者の権利を守る労働法の根本は、憲法が保障する基本的人権保護の精神であることを押さえる。 ○ 先行き不透明な社会において、労働法に関する知識は、自分を守る知識となることに気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な事例に関して、自分たちはどう対処すべきなのか考え、建設的な意見を出すことができる。【表現・技能】(観察法) ○ 社会変化に伴う雇用情勢の変化やキャリアの積み上げに必要な最低限の知識について理解している。【知識・理解】(振り返りシート)
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題の説明を聞く。「15年後の私」を想像し、仕事面、家庭面、趣味面などについて具体的に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 仕事、家庭、趣味など何に価値を置いて生きるか考えさせる。 ○ 自分の生き方、在り方について考えたことをまとめて書かせることで、イメージを明確化させる。 	

(3) 第3時

① 本時のねらい

- キャリア形成支援のための相談機関について知ることにより、将来の理想とする生き方を実現するために自分はどう行動していけばいいのか考える。

② 本時の評価規準

- ◎ 自分の将来に希望を持ち、その実現に向けて将来設計を立てる中で、自己の生き方について考えている。
- 様々な事例に関して、自分たちはどう対処すべきなのか考え、建設的な意見を出すことができる。

③ 準備物

パワーポイント、ワークシート、相談機関に関する資料とDVD、キーワードカード、振り返りシート

④ 学習過程

	学習活動	指導上の留意点と支援	評価規準と評価方法
導 入	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「15年後の私」についてペアで交流し合う。 ○ 「15年後の私」の発表を行う。 ○ 励ましのメッセージを交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ まず、教員自身の15年後について発表する。 ○ 自分の意見を分かりやすく伝えることや、相手の話を傾聴するなど、かわる際のルールを確認させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の将来に希望を持ち、その実現に向けて将来設計を立てる中で、自己の生き方について考えている。【思考・判断】(ワークシート)
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分たちがイメージした15年後の生活の中で、突然予期せぬ出来事が起こった場合、どうするか考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 突然会社が倒産して失業した場合 ・ 仕事で怪我をして働けなくなった場合 ・ 職場でいじめにあって、働く自信が持てなくなった場合 ・ 新しい資格を取得して転職したいとき ○ 労働者の生活を保障する相談機関について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時で配付した資料をもとに個人で考えさせた後で、グループ討議を行わせる。 ○ DVDや資料などを用いて、どんな場合にどの相談機関に問い合わせばいいのかわかりやすく紹介する。 ○ 失敗しても、立ち直るためのシステムや悩んだ時の相談機関があることを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な事例に関して、自分たちはどう対処すべきなのか考え、建設的な意見を出すことができる。【表現・技能】(観察法, ワークシート)
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今までの学習を通して、今後の自分の進路を考えていく上で必要なことは何か考える。 ○ 本単元で学習したことを振り返り、次への課題を認識する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人生は選択の連続である。中学校卒業時だけでなく、生涯にわたり、自分の生き方について考え、主体的に進路を選択していかなければならない。その際、社会や経済の動向について積極的に情報を収集することが必要であることを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の将来に希望を持ち、その実現に向けて将来設計を立てる中で、自己の生き方について考えている。【思考・判断】(振り返りシート)